

# 甘楽町広報

昭和42年1月15日 (毎月15日発行) 第86号【1頁】

1月1日の人口と世帯

世帯数	2,748戸
男	6,794
女	7,158
計	13,952

1月の納税  
一、国保税六期  
一、麦共済掛金全期

2月11日は  
建国記念日  
この日は新しく国民の祝日に定められました。日の丸をたてて、みんなでお祝いしましょう。

発行所 群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡甲852  
甘楽町役場  
電話(小幡)4番・44番・49番  
編集所 総務課企画文書係  
印刷所 坂本印刷株式会社  
1部金3円

## 42年度に新庁舎建設

### 五か年計画で他事業も



町長 飯塚勝久

かがやかしい昭和四十二年の新春をみなさまと共に迎えてきましたことをご同慶に存じます。

特に私は、町長に就任してはじめてのお正月なので、このほか感慨がいふものがあります。それは、一つには、個人の立場から公の立場に変わり、住民の代表として、全町民の福祉の向上のために、真剣に取り組まなければならぬ責任感によるものであります。よろしくお祈りいたします。

「一年の計は元日にあり」といわれますが、私は、新春早々に甘楽町の五か年計画を立て、どのような仕事を、どのように進めていくかを明らかにし、皆さまのご理解とご協力を得たいと思っております。

その一番目の仕事として、幸い昨年十二月の町議会で新しい役場庁舎の位置を決めていたことので、その新庁舎の建設を四十二年に実施したいと思っております。

役場新庁舎の建設は合併時の約束であり、当町発足以来の念願であります。しかし、それ以上に建設を必要とする理由としては、住民のセンターであり、行政の中心である現在の役場が、小学校の校舎の一部を使用したり、それでもなお狭くて、通路も、書類の保管場所にも困り、事務処理や住民サービスにこと欠いている現状です。この辺で新庁舎を建設し、新町建設の礎としたいと考えています。

しかし、ほかにも、し尿処理場問題、三中の体育館の建設、農業構造改善事業の推進や道路整備など、これからのやらねばならぬ仕事が出揃っていますので、先にも申し上げましたように、計画をたてて



議長 山田昌彦

それらも財政の許す限り促進したいと思っております。

明けましておめでとうございませう。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

甘楽町も発足してより、まもなく満八歳の誕生日を迎えようとしております。

町もみなさんの不断の協力により、ご承知のとおり、なごましい成長を遂げております。昨年は特に申しあげたものとしまして、初代町長であった齊藤八郎氏が逝去されたこと、飯塚勝久氏が新任されました。また八年間の懸案であった役場庁舎の位置も決定いたしました。議会は、前町長及び住民

それについても、皆さまの御協力をお願い申し上げます。

日投票日、2月19日に告示されたように1月17日の選挙管理委員会が決められました。

選挙を2月とした理由としては、①公選法三十三条の規定を適用した。②過去二回の町選も2月に行なわれた。③農家の実情から4月の統一選挙をさけた。としております。

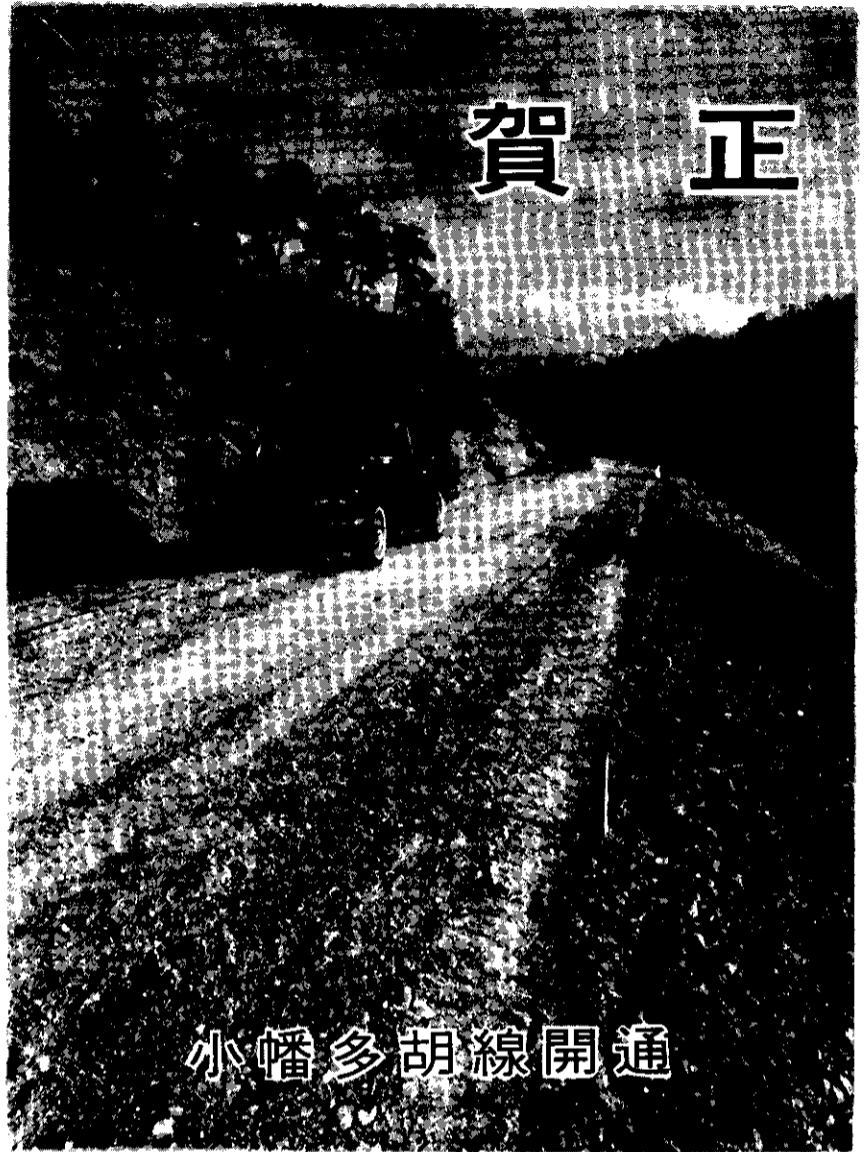
2月26日に決定  
町議会議員の選挙は2月26日

から、役場庁舎位置は、すみやかに決定するようにと強力に要請され、これを果たすべく全力を挙げて努力してまいりました。幸いにして前町長の衣鉢(いはつ)をついだ新町長でありますので、新町長に協力申しあげようやく十二月十三日の定例会において、その決定

民の協力を  
庁舎建設に町

を見たものであります。

八年目にしてようやく役場の位置が決定したのであります。今までのやれやれが、今更なやれやれが、甘楽町にありたいと信じているものがあります。なにとぞ旧に倍して甘楽町議会对してご支援のほどをお願いいたします。どうか町長におきまして本年のごあいさつといたしま



## 賀正

### 小幡多胡線開通

昨年十一月二十八日自衛隊第十二施設大隊によって起工された町道、小幡多胡線(うち引田(天引)第三期改修工事は、作業隊の日ごろきたえたすくれた技術と機械力を生かした誠実な作業の結果、工事が予定より早くすすみ、昨年十二月二十六日にしゅん工式を行ないました。

この間わずか二十九日間で延長一、一三二メートル、幅五メートルの、上の写真のようなりっぱな道路が完成し、工費も約四十一万円を要しました。これで、小幡と天引間の当時の横の幹線が開通したわけです。自衛隊のみならず、ありがとうございます。



新屋Aが連続優勝  
元旦駅伝

町体育協会(篠原三郎会長)、教育委員会は主催した第8回町内一周元旦駅伝は、町内13の精鋭チームが参加して実施され、全長32.85キロメートルで熱戦がくりひろげられました。その結果、新屋Aチームが1時間55分54秒の好記録で2年連続優勝しました。(写真上)

大会のチーム成績、区間記録は、次のとおりです。

区間記録  
①1区…齊藤隆之(秋畑・14分15秒)  
②2区…齊藤秀雄(福島A・20分51秒)  
③3区…堀口孝男(新屋A・8分17秒)  
④4区…飯塚 勝(秋畑12分02秒)  
⑤5区…田村 明(福島A・21分07秒)  
⑥6区…佐堀啓二(善慶寺国峯・17分13秒) ⑦7区三木秀雄(新屋A・19分48秒)

広報の使命  
広報は、民間で発行する新聞類とは性格がちがいます。広報は、町で行ない、また行なおうとしている仕事を主権者である住民によく知らせ、その内容を理解していただき、そして、町行政が円滑にいくよう協力していただくという目的で発行しています。いかえると、住民のみならず町政を知る手だすけ役として

発行しているわけです。したがって、広報は住民のものであるともいえるし、役場と住民のかけ橋の役目ももっているわけです。

ですから、編集にあたっては、町で行なっている仕事や町内のでき事などをできるだけ多く記事にし、よき心がけています。それでも決して満足してはいたいたくありません。むしろ、いかにして、むすかしい問題については、この紙面だけでは解説しきれないものがあります。そのような

きには、えてして、流言飛語や誤解を生じやすいものです。ですから、そんなときにはぜひともご意見やご要望を広報係へお寄せいただいたらと思います。

係りでは、みなさんの建設的な貴重な声には、回答するものは回答し、実行するものは実行するようにいたします。みなさんのなごむようのくちくちの処置をとりたいと思っております。広報は、住民の繁栄と町発展への踏み台でありたいと思っております。

黒沢さんに  
勲五等瑞宝章

黒沢 潤次郎 さん(白倉・七二)に「勲五等瑞宝章」が授賞されました。長年にわたる農業振興につくされた功績が認められたものです。

黒沢さんは町の有功者で、農業団体関係では大正十三年新屋村農会総代に選任されたのをはじめ、新屋村農会会長、同農協組合長、郡、県関係の各種役職を歴任され、現在も

有功者・黒沢  
長吉さん死去

黒沢 長吉 さん(善慶寺)は、昨年十二月二十三日、脳軟化症のため死去しました。

黒沢さんは旧小幡町当時、議会議員、区長などを長年歴任したのをはじめ、特に現在の農協の前身である「産業組合」の育成につとめられました。また、熱心なクリスマスチャンド、十三才で洗礼をうけ、以来一貫して誠実な生涯をおくられました。また手習いの勉強を欠かしたことがなく、その温厚な人からとくに多くの人々から尊敬されておりました。

ここに深く哀悼の意をあらわすとともに、つつしんでみなさんにお知らせいたします。

紙面の都合により歳末たすけあい運動の成果の発表は次号にまわします